

付 録

認知度調査（調査方法）

調査期間

- 2007年8月31日（金）～9月3日（月）

調査方法

- モニターへのWEBアンケート
- 調査タイトルを「生活に関するアンケート」とし、ハウスの認知に関係なく、アンケートに回答できるようにした。

調査対象（アンケート設計時）

- 全国在住 3091人（リサーチ会社登録モニター）
- 性別均等
- 年代均等
（20代/30代/40代/50代以上（～60代））
- 地域はブロックごとに人口比に比例
（北海道/東北/関東/北陸/中部/近畿/中国/四国/九州）

回答者の主な属性（アンケート回収後）

性・年代別

		度数	列%
性・年代別	男性20代	378	12.2
	男性30代	385	12.5
	男性40代	388	12.6
	男性50代以上	390	12.6
	女性20代	387	12.5
	女性30代	386	12.5
	女性40代	387	12.5
	女性50代以上	390	12.6
	合計	3091	100.0

地域分類

		度数	列%
地域分類	北海道	144	4.7
	東北	242	7.8
	関東	981	31.7
	北陸	145	4.7
	中部	390	12.6
	近畿	544	17.6
	中国	192	6.2
	四国	101	3.3
	九州	352	11.4
	その他		
	合計	3091	100.0

認知度調査（調査項目／集計結果）

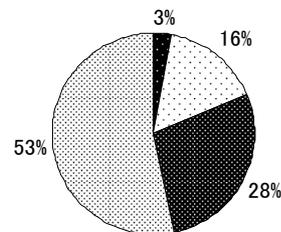
I ホスピタル・ホスピタリティ・ハウスの認知についてお聞きます

Q1. あなたは、病気の子どもと付き添い家族のための滞在施設「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」をご存知ですか

※「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」は総称で、個々のハウス名には以下のような名称が使われています。

（一例）滞在施設、患者家族滞在施設、慢性疾患児家族宿泊施設、サポートハウス、ファミリーハウス、アフラックペアレンツハウス、ドナルド・マクドナルド・ハウスなど

- 1 具体的な内容まで知っている
- 2 大体のことは知っているが、詳しくは知らない
- 3 そのような施設があることを何となく記憶している
- 4 全く知らない

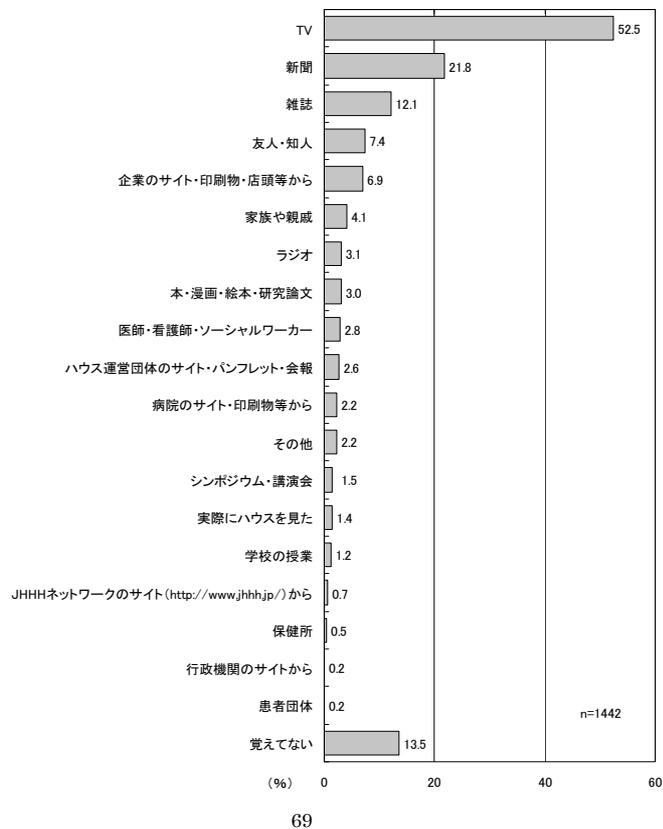


- 具体的な内容まで知っている
- 大体のことは知っているが、詳しくは知らない
- そのような施設があることを何となく記憶している
- ▨ 全く知らない

		度数	列%
Q1. あなたは、病気の子どもと付き添い家族のための滞在施設「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」(*)をご存知ですか	具体的な内容まで知っている	86	2.8
	大体のことは知っているが、詳しくは知らない	486	15.7
	そのような施設があることを何となく記憶している	870	28.1
	全く知らない	1649	53.3
	無回答		
合計		3091	100.0

Q 3. あなたは、「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」をどこから知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください（複数回答）

- 1 TV
- 2 ラジオ
- 3 新聞
- 4 雑誌
- 5 本・漫画・絵本・研究論文
- 6 ハウス運営団体のサイト・パンフレット・会報
(団体名:)
- 7 JHHH ネットワークのサイト (<http://www.jhhh.jp/>) から
- 8 家族や親戚
- 9 実際にハウスを見た
(ハウス名:)
- 10 企業のサイト・印刷物・店頭等から
(企業名:)
- 11 病院のサイト・印刷物等から
(病院名:)
- 12 行政機関のサイトから
(行政機関名:)
- 13 学校の授業
- 14 シンポジウム・講演会
- 15 医師・看護師・ソーシャルワーカー
- 16 保健所
- 17 患者団体
- 18 友人・知人
- 19 その他 ()
- 20 覚えてない



II ホスピタル・ホスピタリティ・ハウスについてお聞きします

■全員の方にお聞きします

☆以降の設問は、以下の URL からサイトを一通りご覧になってからお答えください

→ <http://www.jhhh.jp/>



Q4. 以下に挙げるもので、遠方の病院での付き合い生活や、「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」に関して、理解できたことをすべてお選びください（複数回答）

- 1 小児の病気で高度医療を提供している病院は全国で限られていて、治療のためには、自宅を離れて遠方の病院に行かなければならない可能性があること
- 2 親（家族）が、入院中の子どもに24時間付き添えないことがあること
- 3 遠方の病院での付き合い生活は、宿泊費・外食費・旅費交通費など、出費が多額になること
- 4 治療期間は、場合によって、半年や1年など長期間になることがあること
- 5 ハウスは、自宅を離れて専門病院で治療を受ける子どもと家族が滞在できる宿泊施設だということ
- 6 ハウスは、1泊1000円程度の低額で利用できるということ
- 7 ハウスは、子どもの病気のことや、慣れない土地での付き合い生活で、心身ともに疲れている家族が、わが家のように、くつろいで安心・安全に生活できる施設であること。
- 8 ハウスは、プライバシーが確保でき、親戚や知人の家とは違って気兼ねなく子どもの治療に専念できること
- 9 ハウスには、慣れない土地で不安を抱えている付き合い家族を、見守っているスタッフ・ボランティアがいること

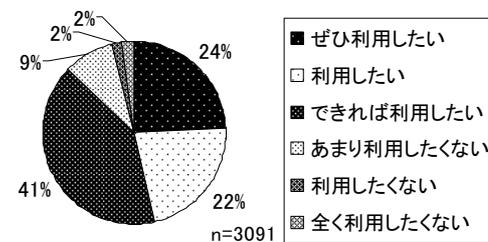
- 10 ハウスは、同じ病気をもった家族と過ごすので、情報交換や、気持ちの支え合いができること
- 11 ハウスは全国各地にあること（全国に約 125 施設）
- 12 ハウス運営団体の形態が「財団・NPO・任意団体」「企業の CSR・社会貢献活動」「病院」の大きく 3 種類があること
- 13 独立した団体が各ハウスを運営しているが、ハウス運営団体はネットワークを組んでいること（JHHHネットワーク）
- 14 ハウスの維持運営において、行政からの財政支援は基本的にないこと。
- 15 ハウスの運営は、非営利で、個人・企業等からの寄付金・物品寄付、ボランティアや医療従事者・専門家に支えられていること
- 16 世界で最初のハウスは 1970 年代にアメリカで設立され、現在では世界各地にハウスがあること
- 17 1990 年前後まで日本にはハウスがなく、病気の子どもをもつ家族が自ら活動して、ハウスが設立されるようになったこと
- 18 いずれもない

		度数	列%
Q4. 以下に挙げるもので、遠方の病院での付き添い生活や、「ホスピタル・ホスピタリティハウス」に関して、理解できたことをすべてお選びください	小児の病気で高度医療を提供している病院は全国で限られていて、治療のためには、自宅を離れて遠方の病院に行かなければならない可能性があること	2142	69.3
	親（家族）が、入院中の子どもに24時間付き添えないことがあること	1552	50.2
	遠方の病院での付き添い生活は、宿泊費・外食費・旅費交通費など、出費が多額になること	1826	59.1
	治療期間は、場合によって、半年や1年など長期間になることがあること	1400	45.3
	ハウスは、自宅を離れて専門病院で治療を受ける子どもと家族が滞在できる宿泊施設だということ	1941	62.8
	ハウスは、1泊1000円程度の低額で利用できるということ	1269	41.1
	ハウスは、子どもの病気のことや、慣れない土地での付き添い生活で、心身ともに疲れている家族が、わが家のように、くつろいで安心・安全に生活できる施設であること	1380	44.6
	ハウスは、プライバシーが確保でき、親戚や知人の家とは違って気兼ねなく子どもの治療に専念できること	999	32.3
	ハウスには、慣れない土地で不安を抱えている付き添い家族を、見守っているスタッフ・ボランティアがいること	969	31.3
	ハウスは、同じ病気をもった家族と過ごすので、情報交換や、気持ちの支え合いができること	931	30.1
	ハウスは全国各地にあること（全国に約125施設）	1571	50.8
	ハウス運営団体の形態が「財団・NPO・任意団体」「企業のCSR・社会貢献活動」「病院」の大きく3種類があること	835	27.0
	独立した団体が各ハウスを運営しているが、ハウス運営団体はネットワークを組んでいること（JHHHネットワーク）	925	29.9
	ハウスの維持運営において、行政からの財政支援は基本的にないこと	585	18.9
	ハウスの運営は、非営利で、個人・企業等からの寄付金・物品寄付、ボランティアや医療従事者・専門家に支えられていること	834	27.0
	世界で最初のハウスは1970年代にアメリカで設立され、現在では世界各地にハウスがあること	525	17.0
	1990年前後まで日本にはハウスがなく、病気の子どもをもつ家族が自ら活動して、ハウスが設立されるようになったこと	512	16.6
	いずれもない	183	5.9
	無回答		
	合計	3091	100.0

Q 5. もし、あなたのお子さんが病気になり、遠方の病院で高度医療による治療（入院）が必要になった場合、「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」を利用したいと思いますか

※お子さんがいらっしゃらない場合でも、いと仮定してお答えください

- 1 ぜひ利用したい
- 2 利用したい
- 3 できれば利用したい
- 4 あまり利用したくない
- 5 利用したくない
- 6 全く利用したくない

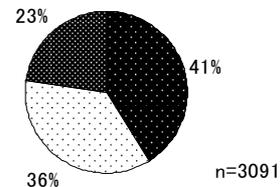


	度数	列 %
Q5. もし、あなたのお子さんが病気になり、遠方の病院で高度医療による治療（入院）が必要になった場合、「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」を利用したいと思いますか	ぜひ利用したい	748 24.2
	利用したい	687 22.2
	できれば利用したい	1263 40.9
	あまり利用したくない	276 8.9
	利用したくない	47 1.5
	全く利用したくない	70 2.3
無回答		
合計	3091	100.0

Q 6. もし、あなたのお子さんが病気になり、遠方の病院で高度医療による治療（入院）が必要になった場合、あなたはどうしますか

※お子さんがいらっしやらない場合でも、いと仮定してお答えください

- 1 「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」の有無に関係なく、遠方の病院に行く
- 2 「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」があれば、遠方の病院に行く
- 3 「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」の有無に関係なく、遠方の病院には行くことができず、自宅から通える範囲の病院に行く



- 「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」の有無に関係なく、遠方の病院に行く
- 「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」があれば、遠方の病院に行く
- 「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」の有無に関係なく、遠方の病院には行くことができず、自宅から通える範囲の病院に行く

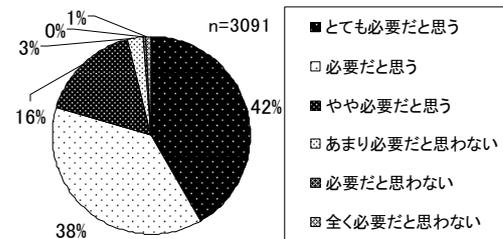
	度数	列%	
Q6. もし、あなたのお子さんが病気になり、遠方の病院で高度医療による治療（入院）が必要になった場合、あなたはどうしますか	「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」の有無に関係なく、遠方の病院に行く	1275	41.2
	「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」があれば、遠方の病院に行く	1109	35.9
	「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」の有無に関係なく、遠方の病院には行くことができず、自宅から通える範囲の病院に行く	707	22.9
	無回答		
合計	3091	100.0	

Q 7. あなたは、「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」は、病気の子どもを持つ家族にとって必要だと思いますか

- 1 とても必要だと思う
- 2 必要だと思う
- 3 やや必要だと思う
- 4 あまり必要だと思わない
- 5 必要だと思わない
- 6 全く必要だと思わない

Q 8. Q 7 でそのようにお答えになった理由を、できるだけ具体的にお聞かせください

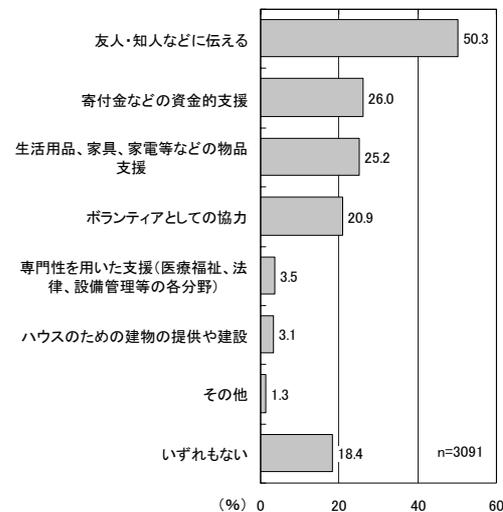
(回答省略)



Q7. あなたは、「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」は、病気の子どもを持つ家族にとって必要だと思いますか	度数		列%
	とても必要だと思う	必要だと思う	
	1289	1170	41.7
		510	37.9
		81	16.5
		15	2.6
		26	.5
			.8
合計	3091		100.0

Q9. あなたは、「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス」の活動内容のなかで協力できるものはありますか。あてはまるものをすべてお答えください（複数回答）

- 1 ハウスのための建物の提供や建設
- 2 寄付金などの資金的支援
- 3 生活用品、家具、家電等などの物品支援
- 4 専門性を用いた支援（医療福祉、法律、設備管理等の各分野）
- 5 ボランティアとしての協力
- 6 友人・知人などに伝える
- 7 その他（ ）
- 8 いずれもない



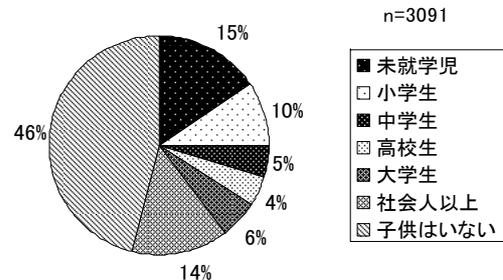
	度数	列%
Q9. あなたは、「ホスピタル・ホスピタリティ・ハウスの活動内容のなかで協力できるものはありますか。あてはまるものをすべてお答えください	ハウスのための建物の提供や建設	95 3.1
	寄付金などの資金的支援	803 26.0
	生活用品、家具、家電等などの物品支援	779 25.2
	専門性を用いた支援 (医療福祉、法律、設備管理等の各分野)	109 3.5
	ボランティアとしての協力	647 20.9
	友人・知人などに伝える	1556 50.3
	その他	40 1.3
	いずれもない	568 18.4
	無回答	
	合計	3091 100.0

Ⅲ あなたご自身のことについてお聞きします

■ 全員の方にお聞きします

F1. あなたは、お子さんをお持ちですか。2人以上のお子さんがある場合、末子の成長段階でお答えください

- 1 未就学児
- 2 小学生
- 3 中学生
- 4 高校生
- 5 大学生
- 6 社会人以上
- 7 子供はいない

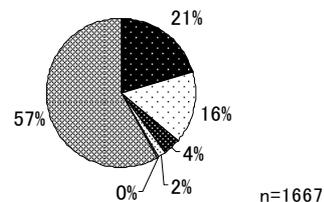


	度数	列 %
F1. あなたは、お子さんをお持ちですか。2人以上のお子さんがある場合、末子の成長段階でお答えください	未就学児	477 15.4
	小学生	297 9.6
	中学生	147 4.8
	高校生	136 4.4
	大学生	174 5.6
	社会人以上	436 14.1
	子供はいない	1424 46.1
無回答		
合計	3091	100.0

■ F 2 は、お子さんをお持ちの方（F 1 で「1～6」を選んだ方）にお聞きします

F 2. あなたのお子さんは、病気で入院をしたことがありますか

- 1 1週間未満の入院をしたことがある
- 2 1週間～1ヶ月未満の入院をしたことがある
- 3 1ヶ月～3ヶ月未満の入院をしたことがある
- 4 3ヶ月～1年未満の入院をしたことがある
- 5 1年以上の入院をしたことがある
- 6 入院をしたことがない



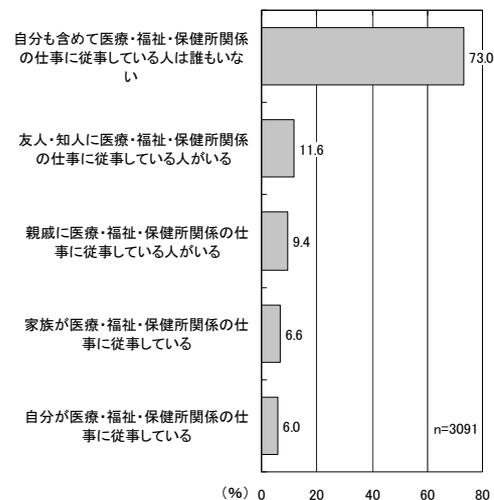
- 1週間未満の入院をしたことがある
- 1週間～1ヶ月未満の入院をしたことがある
- ▨ 1ヶ月～3ヶ月未満の入院をしたことがある
- ▩ 3ヶ月～1年未満の入院をしたことがある
- ▧ 1年以上の入院をしたことがある
- ▦ 入院をしたことがない

	度数	列%
F2. あなたのお子さんは、病気で入院をしたことがありますか		
1週間未満の入院をしたことがある	343	20.6
1週間～1ヶ月未満の入院をしたことがある	261	15.7
1ヶ月～3ヶ月未満の入院をしたことがある	64	3.8
3ヶ月～1年未満の入院をしたことがある	28	1.7
1年以上の入院をしたことがある	5	.3
入院をしたことがない	966	57.9
無回答		
合計	1667	100.0

■全員の方にお聞きます

F3. あなたもしくはあなたの周辺の方で、医療・福祉・保健所関係の仕事に従事されている方はいらっしゃいますか。あてはまるものをすべてお選びください（複数回答）

- 1 自分が医療・福祉・保健所関係の仕事に従事している（具体的な職種名）
- 2 家族が医療・福祉・保健所関係の仕事に従事している（具体的な職種名）
- 3 親戚に医療・福祉・保健所関係の仕事に従事している人がいる（具体的な職種名）
- 4 友人・知人に医療・福祉・保健所関係の仕事に従事している人がいる（具体的な職種名）
- 5 自分も含めて医療・福祉・保健所関係の仕事に従事している人は誰もいない



	度数	列%
F3. あなたもしくはあなたの周辺の方で、医療・福祉・保健所関係の仕事に従事されている方はいらっしゃいますか。あてはまるものをすべてお選びください		
自分が医療・福祉・保健所関係の仕事に従事している	184	6.0
家族が医療・福祉・保健所関係の仕事に従事している	205	6.6
親戚に医療・福祉・保健所関係の仕事に従事している人がいる	290	9.4
友人・知人に医療・福祉・保健所関係の仕事に従事している人がいる	359	11.6
自分も含めて医療・福祉・保健所関係の仕事に従事している人は誰もいない	2257	73.0
無回答		
合計	3091	100.0

●ニーズ調査 ヒアリング訪問先

- 1 長野県 長野県立こども病院
- 2 京都府 京都ファミリーハウス
／ファミリールームからんこえ
- 3 福島県 パンダハウスを育てる会
- 4 宮城県 ワンダーポケット
- 5 愛媛県 ラ・ファミリエ
- 6 群馬県 群馬県立小児医療センター
- 7 愛知県 あいち小児保健医療総合センター
- 8 富山県 富山大学附属病院
- 9 北海道 北海道立子ども総合医療・療育センター
- 10 沖縄県 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター